

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表：平成31年3月20日

事業所名：花ノ木児童発達支援センター（おひさま）

区分	チェック項目	はい	いいえ	取り組み状況
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		法令を遵守したスペースを確保しています。 *保護者さまからの意見 (子どもの人数が多いと手狭に感じる、遊びの部屋が狭い、運動場があれば良い) 刺激の統制と活動の見通しを持ちやすくするため、教室を療育活動と遊びのスペースにわけています。それぞれのスペースが狭く感じることもあるかもしれませんが、療育目的にかなった構造となっています。運動場はありませんが、大型遊具をつかえる遊戯室やクラス前のホールなどの広いスペースを利用して施設内で運動の取り組みを行っています。
	2 職員配置数は適切であるか	○		クラスの活動に合わせて職員を配置し、全クラスで法令で必要とされる職員を超えた配置となっています。 *保護者さまからの意見 (どのような資格をもっているのか知らない、心理の先生が身近だと尚良い) 職員は全員有資格者（保育士、幼稚園教諭、教員免許など）で構成しています。心理士と連携して療育を行っており、また、希望にて保護者が心理相談をうけることができます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		子どもさんにとって何をする場所かわかりやすくするために、活動する場所、遊ぶ場所、1対1で勉強する場所等分けています。 基本的にはバリアフリーの配慮をおこなっていますが、身体障害の子どもさんのために手すり等の検討が必要かもしれません。検討していきます。 *保護者さまからの意見 (個別課題の場面で柵の配置が近く取り出しにくそうに感じる) 個別に様子を見て改善いたします。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		シンプルな空間作りにし、集中しやすい環境を整えています。 また掃除については定期的に、療育後に掃除業務を委託して清潔に努めています。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		毎月、全員参加の職員会議にて意見交換を行い業務改善などについて話し合いを行うようにしています
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		年度途中の懇談前に保護者さまへ療育振り返りアンケートを記入してもらい、療育の満足度および子どもさんの成長度の確認を職員共におこない、業務改善につなげています。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		保護者の方のアンケート調査結果を受け、業務改善にむけた見直しをおこない、自己評価結果を当センターHPにて公開しています。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	第三者による外部評価は現在おこなっておりませんが、今後必要に応じて実施を検討していきます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		年間予定で研修日を決め月に1回～2ヶ月に1回程度研修を実施しています。また必要に応じて職員全員で研修を実施しています。 センターの研修に出席し、情報を共有するように努めています。

区分	チェック項目	はい	いいえ	取り組み状況	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		定期的にあセスメントやモニタリングをおこない、児童発達支援計画を作成しています。
	11	子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		標準化されたアセスメントツール（新版K式発達検査2001、TASP、PARS-TRなど）を使用して評価をおこなっています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		ご家族の希望やアセスメント内容をふまえて個別支援計画を作成し、保護者の方に説明・同意を得て支援をおこなっています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		当該事項について実施できています
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		クラス職員及び児童発達支援管理責任者でお子さまの様子を共有、支援を検討するケース会議をおこなっています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		お子さまの発達や特性に合わせ、自身が主体的に課題に取り組めるように療育プログラムを工夫して実施しています。 *保護者さまからの意見 (年少の頃は同じ療育メニューであった。子どもの集中が低い要因だったのではないかと) 子どもさんの状態により、自立的にわかって取り組めるようにを大きく内容を変えずに繰り返し取り組むクラスがあります。その中でも活動内容を一部だけ変えて変更を受けいれやすしたり、見通しのつけ方を変えて理解を促したり、わかる活動の中で『待つ、順番、交代』などの社会的な理解を促したりと療育目的が変化している場合もあります。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		お子さまの発達評価を元に個別・集団活動を適宜組み合わせています。 領域別の目標を設定した児童発達支援計画を策定しています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		当該事項について、実施できています
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		当該事項について、実施できています
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		当該事項について、実施できています
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		6ヶ月に1度モニタリングをおこない、療育内容の振り返りや今後の課題について保護者さまと確認し、必要であれば個別支援計画の見直しをおこなっています。	

区分	チェック項目	はい	いいえ	取り組み状況
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	○		サービス担当者会議には、児童発達支援管理者とクラスリーダーおよび療育担当者が中心に参加しています。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		保護者の同意を得た上で、必要に応じて保育所、幼稚園、障害福祉課、こどもみらい課などと情報共有や相談、報告をおこない、適切な支援が提供できるように努めています。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		医療的ケアが必要なお子さまや重症心身障害のあるお子さまのご利用はありませんが、体制としては受け入れ可能な状態を整えています。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		移行先の園、保護者さまと連絡調整をおこないながら、支援方法の確認や情報共有などをおこない、適切な支援をおこなえるよう努めています。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		当施設での支援内容を記載したレポートやサポートブックなどを用いて情報共有できる体制を整えています。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		センター内医師や心理士などと連携し、助言や研修を受け資質向上のため学んでいます。外部専門家による研修に参加しています。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	利用されているお子さまはほとんどが保育所や幼稚園に並行通園されていますので、特別に機会を作っておりません。 *保護者さまからの意見 (交流する機会は無くても良い)
	29 (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		担当者が地域での発達障害部会へ積極的に参加して交流、連携を取っています。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		個別療育後にフィードバックや連絡ノートを通じて保護者さまへ療育でのお子さまの様子、発達の状況、課題点など情報提供をおこない、共通理解に努めています。
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		クラスにあわせてペアレントトレーニングや障害特性理解の勉強会等の家族支援を行っています。また療育で実施している内容や声かけ、関わり方などを保護者さまの対応力の向上のために必要に応じてお伝えしています。	

区分	チェック項目	はい	いいえ	取り組み状況
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		年度初めの説明会時に運営規定、利用者負担等について説明しております。 *保護者さまからの意見 (完全母子通園は納得できない、利用料等の説明はその都度必要) 親子通園によって療育の様子をみていただき子どもさんの理解を深め、子どもへの対応力を向上していただくことも大事な支援だと考えています。尚、6月からは月2回に限り単独通園も実施しています。ご了解いただけますようお願いいたします
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		ご家族の希望や発達評価、アセスメント内容等を総合的に捉えて児童発達支援計画を作成し、保護者さまに説明・同意を得て支援をおこなっています。
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者さまから連絡ノートや問い合わせなどでお聞きした悩みや課題点に対し、速やかにアドバイス、助言できるように努めています。 *保護者さまからの意見 (話をする時間が持てない、半年に1度の懇談はあるが、もう少し期間が短い方が分かりやすい) ゆっくりと時間を取って相談していただけるように、相談対応も実施しています。ご利用いただきますようにご検討ください。 懇談は6ヶ月に1回設けておりますが、それ以外にもご心配なこと等ありましたらいつでもご相談ください。対応させていただきます。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	現在父母の会はなく、活動をおこなっておりません。 卒園児保護者さまと通園児保護者さまの交流会などを企画しています。
	36 子どもや保護者からの苦情について、対応の体勢を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情受け付け窓口等を設置しています。また苦情があった場合には適切に速やかに対応するよう努めています。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		定期的に活動内容をクラス掲示版でお知らせをおこない、把握いただけるように努めています。また行事のご案内もおこなっています。
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報保護規程に基づき研修をおこない職員一人ひとりが対応できるように努めています。 個人情報が記載された書類等は、鍵付きキャビネットに保管しています。 *保護者さまからの意見 (今後のためにと録画されたことがあったが嫌だった。写真も写っている全員に配るべき) 職員の資質向上のために療育場면을録画させていただき、研修に活用させていただくことがあります。4月のはじまりの会でご説明はしましたが、録画を計画する場合は保護者の方に説明し同意を得た上で実施します。説明が不十分で申し訳ありませんでした。写真につきましては、個人情報の観点から配布は中止とさせていただきます。
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		個別に、わかりやすい言葉を使って説明を行うように配慮をしています。
40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	現在のところ、地域のみなさまとの交流の機会を設けておりません。	

区分	チェック項目	はい	いいえ	取り組み状況
非常時などの対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		○	緊急時対応マニュアル（事故防止対策マニュアル）、感染症対策マニュアル等は策定されており、職員には周知していますが、保護者のみなさまには周知できていませんでした。今後検討してまいります。マニュアル策定はまだですが、防犯研修には参加して対応方法を学んでいます。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		避難訓練を定期的に年に1回、実施しています。週に1回の通園にあたり、訓練頻度を見直し、定期的な訓練等をおこなうことを検討していきます。 *保護者さまからの意見（緊急時避難ルートの掲示はあるが説明を受けていない、避難訓練をやった事が無い、知らない）年度初めの説明会時に丁寧に説明をおこなってまいります。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		利用開始時にアレルギーの有無や服薬状況等の情報収集をおこない、職員間で共有しています。またてんかん発作については、対応方法を医師より指示いただき職員間で共有しています。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハット事例があった場合には、報告書を作成して事業所内で共有しています。またセンターの医療安全管理委員会に報告し対策をたてています。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止研修に参加しています。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		契約時に障害児通所支援サービス利用契約書により、身体拘束についての説明をさせていただいております。